



**奥多摩町教育委員会の  
教育目標と方針について**

奥多摩町教育委員会では、憲法、教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、その他の教育関係諸法令並びに東京都教育委員会の方針等に基づき、町の現状と課題を踏まえて、教育目標と方針を定めています。

本年度、最初の発行にあたり、皆様に改めてお知らせするとともに、子どもたちにとって将来を見据えたより良い教育環境の実現のために教育行政を推進してまいります。

**(1) 教育目標**  
「住みたい 住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩」をまちづくりのキャッチフレーズとする町の第5期長期総合計画を指針とし、次代の町を担っていく人材の育成を最重要課題とし、知・徳・体の調和のとれた人間を育てるため、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育成する教育を推進し、子供たちの「生きる力」

を育む。

そのために、学校、家庭、地域が連携し、だれもが生涯を通じて、学び、支え合うことのできる地域社会の実現と、まちづくりの基本方針の1つである「町の中と外から関心を持たれる教育のまちづくり」を推進する。

**(2) 基本方針**

奥多摩町教育委員会は「教育目標」を達成するために、以下の基本方針及び施策の方向に基づき、教育施策を推進する。(各方針の説明については、抜粋してあります。)

○ 基本方針1 「人権尊重の精神」と

「社会貢献の精神」の育成  
子供たちが、自尊感情をもち、全ての命を大切にし、人を思いやり、社会の決まりを身に付けて健やかに成長できるように、郷土を愛し、自立した個人を育てる教育を行う。

(1) 自他を大切にする心、自尊感情・自己肯定感の向上

(2) いじめや不登校の未然防止・早期対応、社会生活ルールの習得

(3) 自立心、公共心、社会貢献の精神、郷土を愛する心の育成

○ 基本方針2 「確かな学力の定着」と「個性や創造力の伸長」の推進

確かな学力の定着と、個性と創造力を伸ばす教育を実践することにより、グローバル化社会、情報化社会に対応することができると子供を育成する教育を推進する。

(1) 生きて働く知識・技能の習得

(2) 課題解決力、思考力・判断力・表現力の向上

(3) 情報活用能力、ICT活用能力の育成

(4) グローバル社会を生き抜く力の育成

(5) 個性や創造力の伸長と自己実現

(6) 学校に向かう気力・体力の向上、運動習慣の定着化

○ 基本方針3 「総合的な教育力」と

「生涯学習」の充実

家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携の推進を支援するとともに、町民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加の機会を充実を図る。

(1) 学校の教育活動への地域人材の活用

(2) 誰でも参加できるスポーツの振興

(3) 文化にふれ、交流できる機会の

充実

(4) 町社会の一員としての自覚の高揚と子供たちの豊かな人間性の養成

○ 基本方針4 「町民の教育参加」と「学校経営の改善」の推進

地域の特性を踏まえた広域的な視点に立つ教育行政を進めるとともに、町民に信頼される魅力ある学校づくり、開かれた学校づくりを目指した学校経営を支援する。

(1) 町民の教育参加の促進

(2) 地域の特性を踏まえた教育行政の推進

(3) 町民に信頼される魅力ある学校づくり、教員育成への支援

(4) 安全に生活できる環境づくり

(5) 食を通じた正しい生活習慣の習得

(6) 子供たちの遊び場、青少年・地域住民の諸活動の場の確保

○ 基本方針5 「伝統文化の保存」と

「郷土愛育成」の推進

郷土を知り、郷土を愛する心を育て、町の発展に寄与しえる町民を育てる。

(1) 町民としての自覚と誇りの養成、多様な文化の尊重

(2) 文化財にふれ親しむ機会の充実

(3) 伝統芸能活動の後継者育成を行えるよう教育環境の整備

## 平成29年度 教職員の人事異動がありました

学校名	転出者			転入者等		
	教科	氏名	新任校等	教科	氏名	前任校等
古里小	副校長	乙津 秀敏	檜原村立檜原小学校(校長昇任)	副校長	小野 愛美	羽村市立羽村第一中学校
	全科	渡邊 裕子	八王子市立陶鎔小学校	たんぽぼ学級	西尾あや子	瑞穂町立瑞穂第四小学校
	音楽	鈴木 恒太	青梅市立第三小学校	全科	成宮 慶有	新規採用
	養護	桂田 宏美	日の出町立本宿小学校	音楽	根岸真紀子	文京区立湯島小学校
	—	—	—	養護	峰岨 孝子	日の出町立本宿小学校
氷川小	副校長	刀禰 俊明	府中市立矢崎小学校(校長昇任)	副校長	山根 祐哉	瑞穂町立瑞穂第二小学校
	全科	金丸淳一郎	羽村特別支援学校	全科	中田 智志	立川市立第四小学校
	全科	井手 優子	あきる野市立増戸小学校	全科	岡部 奨	新規採用
	事務	石塚 初子	退職(再任用で氷川小へ)	事務	石塚 初子	再任用
奥多摩中	数学	藤島 真	退職(宮城県仙台市公立中学校へ)	数学	亀田 孝徳	新規採用
	固定級	山崎 智子	退職(再任用で奥多摩中へ)	固定級	山崎 智子	再任用
給食センター	栄養士	田中 昭男	あきる野市五日市給食センター	栄養士	岡部 梨菜	新規採用

### 着任された先生方の挨拶

古里小学校に赴任して



古里小学校 副校長  
小野 愛美

古里小学校の職員室から、緑が一段と濃くなつた多摩川対岸の山々を臨むことができます。校舎内は木で満ち、素晴らしい学習環境の中、子どもたちの元気な声が響きます。このような学校に4月から副校長として赴任することができました。

先日、5・6年生の「御前山遠足」に行つて参りました。月夜見第二駐車場まで町のバスで送つていただき、子どもたちに遅れそうになりながら、必死についていきました。山頂付近のカタクリの群落。疲れを忘れるような美しさでした。子どもたちは、下り坂を木の葉と戯れながら滑り下り、足元の植物に目をやり、杉や檜の針葉樹林と広葉樹林の違いなど自然を全身で感じていました。また、集団を意識して行動し、互いに配慮できる子どもたちで、まさに「奥多摩の子」が育っていると実感いたしました。

以前勤めていた小河内中学校にも登山教室がありました。閉校する年は雲取山で、富士山を眺めながらの

石尾根歩きが叶い、最高の思い出となりました。あれから13年、私はまた奥多摩の学校に戻ることができました。

古里小学校では、地域の方々の協力で奥多摩ならではの体験授業を行つていきます。また、子どもたちの登下校時、駅やバス停、歩行中など、地域の多くの方々に見守られています。地域の方々の大切な学校であると感じています。

副校長として至らない点も多くありと存じますが、一生懸命務めて参ります。よろしく願ひいたします。

よろしく願ひいたします

古里小学校 西尾 あや子  
緑豊かな奥多摩町で教育活動を行うことができ、大変嬉しく思っております。毎日、教室から眺める景色、その中でびのびと遊ぶ子どもたちの姿に心が洗われる思いです。また、毎日子どもたちの登下校を見守つてくださる地域の方々の温かい姿にも感動しております。

私はこれまで主に特別支援教育に携わってきました。さまざまなニーズのある子どもたちにとっての支援が必要か、学校だけでなくご家庭と連携して一緒に考えてきました。学校や私たち教員ができることはほんの一部に過ぎませんが、微力ながら奥多摩の子どもたちのために力を尽くしたいと考えております。

保護者の方々、地域の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 着任の喜び

古里小学校 成宮 慶有  
奥多摩町立古里小学校の2年生を担任することになりました。成宮慶有と申します。

奥多摩に赴任してまもない4月の半ば頃、児童の下校指導をした後に古里小学校の近くを歩いていると、地域の方からお声をかけていただき、周辺を丁寧に案内していただきました。「なんて人情味あふれた温かい地域なんだろう。」と感動いたしました。

今、教壇に立ち、子どもたちと一緒に過ごすことに喜びを感じております。わかりやすい授業ができるように自己研鑽に励むとともに子どもたちとたくさん遊び、遊びを通して関係づくりをしていきたいと思っております。

また、学生時代から取り組んできた音楽も活用しながら、コミュニケーションを取っていききたいと思っております。

そして、この緑豊かで、優しさにあふれる奥多摩のために私自身ができることを精一杯行いたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 古里小学校に着任して

古里小学校 根岸 真紀子

季節の変化によって変わる景色や風を毎日新鮮な気持ちで味わいながら4月から勤務させていた、だいております。

町の文化や自然など、自分の暮らしてきた環境との違いに驚きや感動を覚えるとともに、これが日常で、これからもここで暮らす子どもたちにとつて、どのように感じ取られているのかと考えます。

音楽室から見る深い山々の奥行きや緑の濃淡を、歌声のハーモニーに例え、いかにこの自然が素晴らしいかを子どもたちに話したり、様々な鳥が、多様な鳴き声で美しく鳴くように、歌の中でも表現してみることや試したりしながら、この素晴らしい自然環境によって豊かな音楽性を育んでいきたいと思っております。

奥多摩を愛する熱意あふれる教職員のみなさまと、気持ちを一つにして、子どもたちのために一生懸命がんばりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 古里小学校に着任して

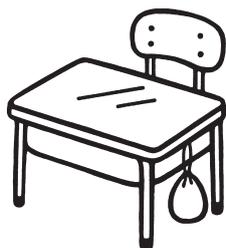
古里小学校 峰崎 孝子

奥多摩の山々が美しい新緑に包まれて着任して2か月過ぎました。自宅から1時間の通勤にも慣れて来た、今日この頃です。

毎朝、児童の『おはようございます』と元気な声で1日がはじまります。古里小学校の素晴らしさはたくさんあるのですが、やはり一番は子どもたちが素直で明るいとこらだと思えます。そんな子どもたちと、毎日過ごせることに幸せを感じています。

縦割り班活動や登校班活動を通して高学年と低学年の交流があり、それぞれが活躍する場がある学校：本当に高学年がしっかり低学年のお手本になっていて理想的だと感動しました。

奥多摩の自然豊かな場所であたたかい保護者の皆様と協力し、微力ですがキラキラした瞳の子どもたちが、心も体も健康で安全な学校生活が送れるよう応援していきます。どうぞよろしく願います。



### 人・ものが生きて



氷川小学校 副校長 山根 祐哉

はじめまして、この度歴史ある氷川小学校に副校長として赴任して参りました山根祐哉と申します。よろしく願います。

今までは、担任をしてきて学級・学年の枠で、日々を過ごしてきましたが、副校長職となり、学校内だけでなく地域・教育関係者の方々とお目にかかり、お仕事をさせていたただく機会が増えました。こんなにも学校は「人」に支えられているのだなという感慨を抱いたのと同時に、出会う方々の素晴らしい人間力・人間性に魅せられるばかりでした。

また奥多摩には、言うまでもなく、四季折々に見せる悠久の豊かな自然の恵みがあります。

これらのものが先人の努力により、学校教育に今まで生かされてきたことで、氷川小学校は発展してきた歴史があります。東京都随一である「人・もの」が共存する氷川小学校で働く幸せを享受し、また始まる明日を精一杯頑張ります。

素晴らしい郷土に触れて

氷川小学校 中田 智志

私は埼玉県奥秩父で育ちました。この奥多摩とは環境がとてもよく似ています。

やはり私は自然が好きで、とりわけ山と川に魅かれます。東京都の教員になってからは、車で奥多摩にはよく来ていました。

奥多摩を訪れるたびに、私の原風景はやはり山と川の自然なんだなと思いついていました。

氷川小学校に赴任して2か月がたち、豊かなのは自然だけではなく、伝統や民話もたくさんあることを知りました。また、子どもたちはとても温かく、素晴らしい環境であることも実感しています。

自分と重ね合わせて、子どもたちが誇りに思える郷土を中心とした教育をしていきたいです。様々な場面で思い出す、山や川、それらの自然環境が奏でる動植物の音、人情味あふれる人付き合いなど、子どもが一生を通じて深めたり、愛着がもてたりと、奥多摩の良さを子どもと一緒に深めていけたらと考えていますので、どうぞよろしくお願ひします。

子どもたちとともに成長を

氷川小学校 岡部 奨

氷川小学校に着任して、早くも2か月が経ちました。教員生活の始

りを奥多摩でむかえることができることに日々喜びを感じています。

豊かな自然に囲まれ育った子どもたちの笑顔はキラリと輝いていて、どの子どもも気持ちのいい挨拶をしてくれます。何事にも前向きに取り組む姿勢も素晴らしいです。

山葵の植え付けや、ヤマメの飼育のような奥多摩ならではの学習も楽しみにしています。地域の方々の温かさに包まれながら、子どもたちとともに成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

よろしくお願ひします

奥多摩中学校 亀田 孝徳

今年度、採用になりました亀田孝徳です。昨年度までは鹿児島県中学校で勤務しておりました。奥多摩中では、2年生の副担任で、数学を担当しています。また、部活動は野球部の顧問をしております。

数学の授業では、基礎・基本の定着を重視し、生徒に「解ける喜び」や「達成感」を実感させ、意欲的に授業に参加する生徒の育成に努めていきます。そして、奥多摩町で推進しているICT機器を活用した授業づくりにも取り組んでいきます。また、個別指導にも力を入れ、生徒一人ひとりに確かな学力を身に付けていきたいと考えています。

東京で暮らし始めて2か月が経ちました。戸惑うことも多いですが、

精一杯頑張ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

栄養士として・・・

学校給食センター 岡部 梨菜

はじめまして。奥多摩町学校給食センター栄養士の岡部梨菜と申します。この4月からこちらで働き始めました。ついこの間まで学生だったはずなのに、それが何か月も以前のことのように感じるのは、充実した日々を過ごしているからなのだと思います。

私は、「食べることは生きること」という言葉を大切にしています。給食を通して、食べ物の美味しさや、食べることの楽しさ、また、誰かと一緒に食べる喜びを伝えたいと考えています。そうして奥多摩の子どもたちが元気でびのびとたくましく大きくなり、誰からも愛されるような人になり、生きる力をつけてくれることを願っています。

そのために、学校給食の安心安全を徹底することはもちろん、積極的に子どもたちの顔を見に行き、健康・栄養について、食育を実践していきまします。これから多くのことに取り組み、学び続け、それを子どもたちに還元できるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

教育委員会の動き

◎11月定例会(11月22日)

・議案第21号―専決処分承認を求めることについて(奥多摩町立学校区域外就学について)他1議案

◎12月定例会(12月22日)

・議案第23号―専決処分の承認を求めることについて(奥多摩町立学校区域外就学について)他1議案

◎1月定例会(1月19日)

・議案第1号―平成29年度教育関係予算の意見聴取について

◎2月臨時会(2月10日)

・議案第2号―奥多摩町立学校長及び副校長の任命について他1議案

◎2月定例会(2月27日)

・議案第4号―奥多摩町立学校学

校運営協議会規則について他1議案

◎3月定例会(3月23日)

・議案第6号―専決処分の承認を求めることについて(奥多摩町立学校区域外就学について)他2議案

◎4月定例会(4月28日)

・議案第9号―専決処分の承認を求めることについて(平成29年度教育課程について(届)他1議案

## 奥多摩中学校をコミュニティ・スクールに指定しました

奥多摩町教育委員会では、4月から、奥多摩中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。地域等の代表である、学校運営協議会委員から、学校運営の基本方針を承認いただいた上で、学校の教育活動に対して、保護者、地域の方々からの支援、協力をいただき、学校教育の充実を図り、より一層、地域に開かれた学校を目指していきます。

保護者並びに地域の方々に、「奥多摩町の子どもたちを支援しよう」「学校のために自分の力を役立てよう」という思いをこれまで以上にもっていただき、貴重な地域人材の掘り起こしを図り、保護者、地域の方々と一緒に、奥多摩町の子どもたちのよりよい成長を後押ししていきたいと考えています。

### 奥多摩中学校 学校運営協議会 委員

- 渡辺 英俊 氏 (学識経験者)
- 竹内 信吉 氏 (地域住民)
- 原島 富子 氏 (地域住民)
- 木村 光恵 氏 (地域住民)
- 菅原 和利 氏 (地域住民)
- 原島 二三和 氏 (地域住民・支援コーディネーター)
- 河村 貴子 氏 (地域住民・支援コーディネーター)
- 師岡 さと子 氏 (保育園関係者)
- 花輪 潤一 氏 (古里小学校長)
- 石上 和伸 氏 (氷川小学校長)
- 中道 司 氏 (奥多摩中学校長)

## 奥多摩町の児童・生徒の体力・運動能力について

奥多摩町の子供たちの体力・運動能力について、昨年6月に実施しました「体力・運動能力、運動習慣等調査(全国・東京都)」の結果を基に報告させていただきます。

お子さんの健康維持、増進のために、毎日、一定時間、体を動かす習慣づくり(運動の日常化)について、ご家庭でもお取り組みいただければと思います。

### 全体的に良好な体力・運動能力 ( )内は調査項目

☆筋パワー・筋持久力(上体起こし)

☆巧緻性・投球能力(ソフトボール・ハンドボール投げ)

長い距離のボールの投げ合い、狙った所に投げる「的当て」を遊びの中に取り入れましょう。

### 全体的に課題が見られる体力・運動能力 ( )内は調査項目

★筋力(握力)→握力は、物をつかんだり持ったり回したりする時に効果を発揮します。

ソフトテニスボール握り。鉄棒のぶら下がり、雲梯渡り。ビジターセンターのクライミングウォール登り。

★柔軟性(長座体前屈)→柔軟性が身に付くと、けがの抑止につながります。

お風呂上りに、親子で5分間のストレッチを。左右に足を開いて前屈運動をゆっくりと。

★全身持久力(20mシャトルラン・持久走)→全身持久力が高まると、運動を続けようとする意欲につながります。

歩いて移動することの心掛け。自然の中のハイキング、短い時間のジョギング習慣を。

調査項目(8種目) 全学年の児童・生徒を対象に実施します。

- 握力(筋力)    ○上体起こし(筋パワー・筋持久力)    ○長座体前屈(柔軟性)
- 反復横とび(敏捷性)    ○50m走(疾走能力)    ○立ち幅とび(筋パワー・跳躍能力)
- 20mシャトルラン(小学校)・持久走(中学校)〈全身持久力〉
- ソフトボール投げ(小学校)・ハンドボール投げ(中学校)〈巧緻性・投球能力〉

## 平成28年度奥多摩町学校給食センターの運営と決算報告

平成28年度は、年間給食回数、小学校189回・中学校196回を実施し、総食数は53,777食(小学校31,617食、中学校22,160食)を提供しました。前年と比較すると2,277食減少しました。

栄養面では、全体にバランスのとれた内容になるよう献立を工夫し、旬の素材を使用した、できるだけ手作りの給食を提供するように努力しております。また、調理後短時間で提供できるように努め、衛生面には特に注意を払っております。

給食費については、小学校は月額、低学年(1・2年生)3,800円、中学年(3・4年生)4,100円、高学年(5・6年生)4,400円、中学校は月額5,300円として運営しました。保護者の皆様からいただいた給食費は全て食材料費として使われ、1食当たりの食材料費は約267円となりました。また、収支差引残額については、食材料の価格変動等があることから、次年度に繰越しをさせていただいております。

食材料費以外の人件費、光熱水費等については、全て町で負担しており、1食当たり778円かかっています。

なお、町では、子ども・子育て支援推進事業の一環として、給食費の全額助成を行っており、保護者の皆さまには一旦納入をお願いいたしますが、後から助成が行われております。

### 平成28年度奥多摩町学校給食センター会計収支決算書

自平成28年4月 1日  
至平成29年3月31日  
(単位:円)

収入の部

科 目	予 算 額	収入済額	比較増△減	説 明
1 給食費	14,171,260	14,447,260	276,000	
1児童給食費	5,780,960	5,869,060	88,100	古里小 3,384,480 氷川小 2,484,580 過年度分 0
2生徒給食費	4,722,300	4,738,200	15,900	奥多摩中 4,738,200 過年度分 0
3職員給食費等	3,668,000	3,840,000	172,000	古里小 889,020 氷川小 1,035,560 奥多摩中 1,303,000 センター 592,000 試食等 20,420
2 繰越金	288,394	288,394	0	
1繰越金	288,394	288,394	0	前年度繰越金
3 雑収入	346	6,523	6,177	
1雑収入	346	6,523	6,177	預金利子・親子料理教室食材費
合 計	14,460,000	14,742,177	282,177	

支出の部

科 目	予 算 額	支出済額	比較増△減	説 明
1 主食費	1,866,000	1,777,619	△ 88,381	
1パン類費	563,000	523,022	△ 39,978	小学校35回、中学校36回
2麺類費	240,000	200,019	△ 39,981	小学校16回、中学校16回
3米穀費	1,063,000	1,054,578	△ 8,422	小学校138回、中学校144回
2 副食費	9,788,000	9,700,803	△ 87,197	
1副食費	9,788,000	9,700,803	△ 87,197	小学校189回、中学校196回
3 牛乳費	2,614,000	2,875,192	261,192	
1牛乳費	2,614,000	2,875,192	261,192	小学校189回、中学校196回
4 返還金	30,000	0	△ 30,000	
1返還金	30,000	0	△ 30,000	
5 手数料	0	648	648	小切手帳発行手数料
6 予備費	162,000	0	△ 162,000	
合 計	14,460,000	14,354,262	△ 105,738	

収支差引残金 387,915 円

# 図書館より新しい本のご紹介

## 一般書

成功者K

羽田 圭介著 河出書房新社

下衆(ゲス)の極み

林 真理子著 文藝春秋

素敵な日本人

東野 圭吾著 光文社

九十歳。何がめでたい

佐藤 愛子著 小学館

風のかたみ

葉室 麟著 朝日新聞出版

錆びた太陽

恩田 陸著 朝日新聞出版

ひとめぼれ

畠中 恵著 文藝春秋

さらば愛しき魔法使い

東川 篤哉著 文藝春秋

赤いゾンビ、青いゾンビ。

川上 弘美著 平凡社

団塊の後

堺屋 太一著 毎日新聞出版

どんぶらこ

いとう せいこう著 河出書房新社

はちみつスイーツ

若山 曜子 作 家の光協会

洗車のテクニク&メンテナンス

カーケアジャパン 監 成美堂出版

## 児童書

いそいでおでかけ

五味 太郎 作 童心社

おしりたんでいシリーズ

トロール作 ポプラ社

はるかぜさんぼ

江頭 路子 作 講談社

とのさま1ねんせい

長野 ヒデ子 作 さすなろ書房

もりのとしよかん

ふくざわ ゆみこ 作 学研プラス

モンスター・ホテルでパトロール

柏葉 幸子 作 小峰書店

おさるのこうすけ

武田 美穂 作 童心社

ほんときいこうの日

レイン・スミス 作 BL出版

ひとりになったライオン

夏目 義一 作 福音館書店

## 教育相談室より

「気遣い」と「いたわり」

いずれも最近、電車内で遭遇したことです。

ベビーカーを押しながら乗車してきた母親が、片手でベビーカーを押さえながら器用にスマホを操作していました。下車する際も片手でスマホの操作は続けています。すると、車両とホームの隙間にベビーカーがつまずきました。母親はその衝撃で落としそうになったスマホを慌てて両手で押さえます。手から離れたベビーカーは、前車輪を隙間に挟んだまま前のめりになったのです。幸い、ホームで乗車しようと並んでいた人が、ベビーカーを支えたことで中の赤ちゃんは無事でした。

## 親の気持ち 子の気持ち

専任相談員 山縣 忠仁

の通話などが話題になっていました。今はそれらの行為は目立たなくなりましたが、何かに取り付かれたようにスマホを相手にしている姿ばかりが目につきます。

一方、ベビーカーと共に乗車してきた親子がいました。母親はベビーカーをゆりかごを揺らすように前後に少し動かしながら子供をあやしています。定期的に我が子の顔を覗き込んで、ひと言ふた言、声をかけています。下車するまでそれを繰り返していました。

また、座席に座つてにこやかに母親が会話をしていました。途中駅でお年寄りが乗ってきました。その途端、娘さんはお年寄りに黙って席を譲りました。お礼を言うお年寄りに、小さな笑顔で答えた後、母の前のつり革につかまり会話の続きを楽しんでいました。

気遣いといわりのある人間(親子) 関係を目の当たりにした時、私は「ホッ」と心が和んでいくのを感じました。機械や機器と向き合うことより、気遣いといわりを共有できる人間と向き合うことのほうが、とても大切なことだと感じます。家庭の中でも、この気遣いといわりのある関係が、身近に心を和ませる時を味わわせてくれるのではないのでしょうか。

4人用のボックス席に両親と小学生2人の家族4人が座っていました。行楽帰りのようで、ちよつと疲れた様子です。1時間近い時間ずっとスマホを操作して何も話しません。親子の会話も夫婦の会話もそして兄弟の会話も全く聞こえません。唯一親子の会話が停車駅に近づいたアナウンスを聞いて、「次!」「うん。」でした。そして次の停車駅で下車していきました。

以前は電車内のマナー違反行為として床に座り込むとかヘッドフォンから漏れてくる高雑音や携帯電話で

郷土奥多摩(文化財)

その5

杣入観音堂十一面観音立像

文化財保護審議会委員 福島 喜彦

今回の郷土奥多摩の紹介は町指定文化財、白丸の杣入観音堂十一面観音立像です。白丸駅の踏切を渡り西方へ、いくつかのカーブを経て旧道沿いの上に、静寂と凛とした中、杣入観音堂があります。地元では「観音様」と呼ばれ親しまれているそうです。初めはここから北西に位置する堂平に建立され、その後、現在地の直上に移転しましたが、嘉永六年(二八五三年)の大火により焼失し大正七年に現在地に建立されました。



観音堂

木造厨子内に像高八十五cm、蓮座高四十cm総高百五十cmの十一面観音立像、左に不動明王立像、右に毘沙門天立像をそれぞれ脇侍に従えた三尊形式の中尊が安置されています。



三尊像

仏像には、様々な種類があり姿形も異なればご利益も違います。「如来」、「菩薩」、「明王」、「天部」の四種類に分けられます。「羅漢、高僧」と呼ばれる人間の像も広い意味で仏像に含まれるため、これを加えると全部で五種類に分類することができます。この順で地位が高くなっています。

杣入観音堂十一面観音立像は、「菩薩」です。この菩薩は、出家前の釈迦の姿を現し如来の衆生救済の補佐をし、将来如来になることを約束され悟りを求めて修行しながら、苦しむ人々を救う方で、人々の苦しみや願いをすべて救うため様々な法力や功德を持つとされています。菩薩には観音菩薩、弥勒菩薩、地藏菩薩、文殊菩薩などがあり、杣入観音堂十一面観音立像は観音菩薩です。この

観音菩薩の全ての基本形態が聖観音で、十一面観音など三十三の姿に変化しあらゆる悩みに応えたとされています。観音とは、耳に聞こえない音目に見えないものは心の目を開かなくは、聞こえないし見えません。この心で見えることを「観」といい、観の働きで衆生を救ってくれるのが観音様です。

十一面観音の多くは頭部正面の化仏と頭頂部の如来の顔をした仏面を除いて十または十一の顔を持つているのが特徴です。杣入観音堂十一面観音立像は、天冠台の上に化仏と頭頂仏面と十面の観音像があります。優しい表情をした菩薩面が三面、怖い顔をした憤怒面が三面、牙を上に向けた狗牙面が三面、大笑いした暴悪大笑面が一面で、正面の観音様を入れて十一面になります。すべての方向を見つめ、十一の顔を使い分けてあらゆる人々に目を向け、救いにかけてくれるということ。次に額の中央にある光を放つとされる白毫、喉元の三つのしわは、三道で悟りに至るまでの修行の三段階を示すとされています。右手は人の願いを聞き入れる与願印、左手には蓮華が生けられた水瓶を持っています。水瓶の中の水は、一切の穢れが消えるという功德水が入っています。

十一面観音立像は、江戸初期造立と伝えられていたようですが、平成

26年に修理の為の解体調査を行った際に観音体内に「徳治貳年丁未(一三〇七年)七月十日」という文字が記されていました。これは、製造された日ではないかと解釈できます。これが事実とすれば、今から七一〇年前の鎌倉時代末期になります。また、観音堂の建立時期は白丸地区に伝えられる「白丸の杣入十一面観音堂の沿革の一考察」では、慶長年間より更に遡り鎌倉末期、或いはもう少し下がつた室町期に存在した可能性もあると記されていて、鎌倉末



十一面観音

期とすれば観音堂建立と十一面観音像造立の時期が一致することになります。

最後に、今年三月に専門家による調査が行われ報告が待たれる所ですが、奥多摩に約七〇〇年前の立派な仏像の秀作があることを誇りに思うと共に白丸地区の皆様が、代々大切にお守りしてきたことに対して、敬服し感謝する次第です。